

京橋の印刷

4月10日1991・No.79

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 3552-1855

発行人
田島 弘



湾岸戦争と日本

副支部長 近藤 正弥

湾岸戦争も終了し、世界中がホットしている中、多国籍軍の兵士が祖国に帰還していく姿をテレビで見た。それを見ていて、複雑な思いに馳られたのは戦中派の私一人ではなかったと思う。特に米国の場合、女性兵士が英雄として迎えられたり、夫婦で戦争に参加したりしての帰還には一層複雑な思いであった。というのは、戦争そのものは、野戦病院における従軍看護婦以外女性には全く関係のない男の世界だと固く信じていた世代であるからである。

一九八九年十一月九日午前三時滞在中のロンドンのホテルで見たテレビのモーニングショーでいきなり飛び込んできた画面が、ベルリンの壁の崩壊する映像であり、大きなショックと共に興奮で体のふるえたのを覚えているが、その後の世界は東欧諸国を中心に大きく変化した。そして今度の湾岸戦争であり、この戦争は我々日本人は大きな教訓を残したと思う。反省だけでは済まされない何かである。

日本政府もマスコミも、また我々も、平和ボケにどっぷりとつかっていたためにその対応がまずく、靴の底から足の裏をかいているようなもどかしさを感じたのは私一人ではあるまいと思う。その点、米国は世界の自由のためには闘うという教育を小さい時から訓練されているという話は、米国の真髄を見た思いがした。

”箱根・天成園”にて新年臨時総会開催

2月8日(金)、暖やかな日和に恵まれた大安吉日、京橋支部新年臨時総会が箱根湯本温泉で4年ぶりに催されました。三々五々到着して一服した後午後4時、近藤副支部長の声で始まり、開会のことばが佐藤副支部長によって述べられ、まず田島支部長が挨拶を次のように述べました。「本日は多勢の方々が参集されて、お礼を申し上げます。昨年は本部行事として、敬老の集いや組合百年を記念して、組合功労者の表彰、物語事業主の慰霊祭、記念パーティー、等、各種の行事が催されました。京橋支部にもその参加割当てがあり、皆様方のご協力によりまして、目標を達成する事が出来まして、京橋支部の支部長として大変有難く思っています。」

10月には中央区・中央区工団連参加の第一回産業文化展が日本橋プラザで開催されました。これも皆様方のご協力を得まして、5万人もの入場者を数えて成功裡に終了しました事を感謝しております。毎回のことですがこの産業文化展のポスター、ガイドブック等の印刷について今回も中央区の行事は区内の地場産業である印刷・製本業者へとの要望を商工課とも折衝しましたが、中央区の方針では出入業者の登録が2年毎に秋に行われ、昨年11月には約66社の印刷業者が登録しているそうですが区内の業者は少

ないようです。次回は次の執行部の来年秋になります。これからは支部報でも周知していくようにしたいと思えます。印刷業界も昨年頃から仕事量も減少して来ているとの報道もあり、そんな雰囲気も何となく感じるようです。又諸物価の値上げによる収益の低下もあり、又取引先との交渉も昨年来行われていますが、そんな事で、これからの情報の交換を密にし、緊密な連携のものもとやってゆきたいと考えております。昨年発足後まだ半年あまりで、まだ足が地に着いておりませんが今後共、御支援の程をよろしくお願い致します。有難うございました。」



次いで近藤副支部長より、「田島執行部が発足してから18ヶ月、この間いろいろな事がございましたが、どうか頑張っている最中でございます。これも前役員の方々のお力添えがあったからです。その感謝の念で、前役員の方々への感謝状をお贈りしたいと思います。代表の方4名に贈呈させて戴きます。」と前置きして、まず前支部長の(株)大竹印刷所、大竹次郎氏へ、田島支部長より感謝状が朗読されて、記念品と共に、手渡され、拍手で迎えられました。」





続いて前役員の名前が読み上げられて、前副支部長8名を代表して荒木印刷(株)、荒木徹氏、前地区長の9名を代表して、(有)斎藤正文堂、斎藤収夫氏、前幹事31名を代表して、大興印刷(有)佐野務氏へ、それぞれ感謝状と記念品が、田島支部長によって朗読されて手渡されました。前役員49名へ感謝状が贈呈されました。議事を終了して来賓挨拶に移り、まず東印工組副理事長の田島一弥氏は次のように挨拶しました。「ご指名を戴きましたので一言、ご挨拶申し上げます。只今は新年臨時総会が滞りなく終了しました。理事をお喜び申し上げます。また前期の役員の方々に感謝状が贈られて、誠に苦勞様でした。どうかこれからも御健勝で、ご活躍されますよう、お祈り申し上げます。又平素は組合運営の

ため支部長を初め多くの役員の方や支部の皆様方には大変ご協力戴いています事感謝致します。何と申ししても、京橋支部は東印工組の中でも一番大きな支部でございます。技術的影響力も大きなものがあります。どうか今後もご支援を賜りますようお願い申し上げます。さて昨年、新村前執行部から塚田執行部へバトンタッチされました。新執行部と致しましても、新しい方針を打出しています。それはこれからの組合運営の長期目標でもありますが、いわゆる「棲み分け」の出来る中小企業の分野を創っていくという事であります。

それから自分が属する枠の中で成長の出来る体質を作り上げたいという事であります。高い付加価値を持ったパートナーを目指してというと、塚田理事長も話しておられます。それを、是非、実現させるためにも私共は力を合せて、高付加価値を産み出すようにして行かねばならないと思っております。又2年毎の印刷業界の展望が出されましたので、それも中小企業として精力を傾注できるような努力をしてゆかなければならないと思っております。そういう事を積み重ねていきまして豊かな、希望のもてる、印刷業界を作るよう努力し、夢のある業界が展望できるように願っているわけです。どうか皆様方のこれまで以上に御協力下さいまして、努力をお願いしたいと思います。最後になりましたが当支部の増々のご発展と皆様方の企業のご繁栄、並びに皆様のご健勝を祈りまして私の挨拶と致します。(拍手)



続いて東印工組常務理事、長島一磨氏が挨拶に立って「只今田島副理事長が本部役員での立場から挨拶されましたので、私はそれとは別の、日常私が考えている事や、本部構成委員会の関連についてのお話をさせて載せたいと思っております。」と述べて話をされました。(6頁参照)

有難うございました。只今の言葉聞きまして反省する事の多いような気がします。我々の回りには感動、感激の少ない事が多く、又ゴミ等の環境問題についても、自分達が解決するのではなく、メーカーにその責を負わせたり、もう一つは物の考え方が、従来は日本国内だけで良かったのが、地球規模というか、全体の中で考

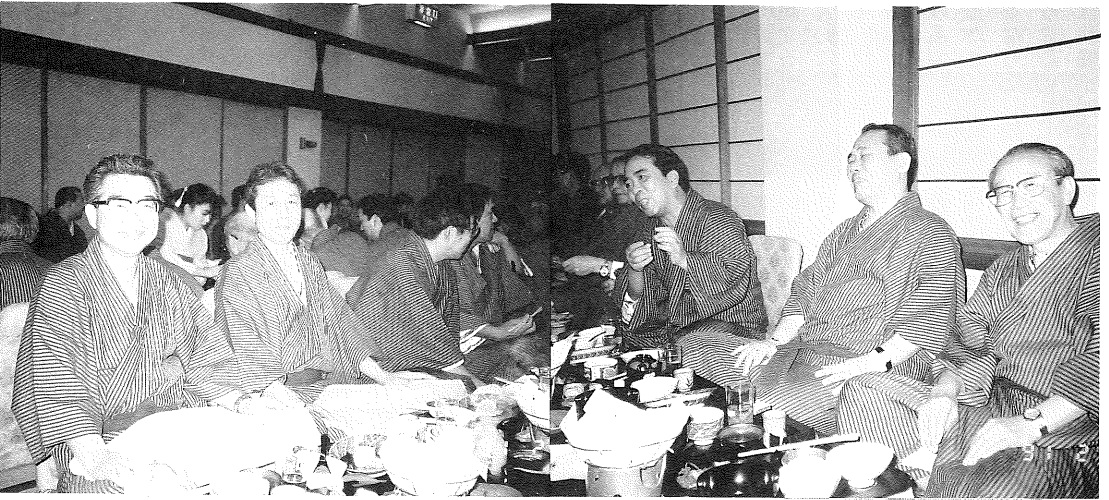


えなければいけない時代に来ているようで、人間として、どう受け止めて行くのか、やはり昔にフィードバックすればいいのかわかっていますが、心の豊かな人間を作る、その中から物の生産という事を考えないと地球がなくなっちゃうのではないかと、又一つは私の経験した事ですが、昨年、インドネシアの植林に参加してきましたが、その時に驚いたのは発展途上国という目で観ていました所、植林に関しましては、地球規模で考えて、国が大きなプロジェクトを作りまして、一人二人がそれを一生懸命に取り組んでいる。僅か三日間で5千本を植えるという事をやってみました、我々日本人は一体、何をしているのかという気になりまして、我々は金だけでなく、もう少し地球規模の大ききで物事を考えねばならないと感じ、只今の長島さんのお話に共感したわけです。我々にしてただ毎日、印刷するために生きるだけでなく、もっと隣の国との連帯を考えながら動かなければいけないなあと感じた次第です。長くなりまして恐縮で

す。次に中央区工団連の児玉会長にご挨拶をお願いします、と紹介されて児玉会長が登壇し、「本日は新年臨時総会が無事終了した事をお喜び申し上げます。只今は田島副理事長さん、長島常務理事より有益な話がありましたので、私は何も申上げる事はありませんが、中央区と工団連では、昨年秋、第1回の産業文化展を行いました。今迄は工業文化展として10年間に5回行われましたが、今年は規模を大きくと、商業等を加えて産業展として開かれました。その折はいろいろとお世話になりました事をこの席でお借りして、お礼申し上げます。

尚、この時に私が一番うれしく感じたのは、私の知っている人がたまたま文化展を見に来て戴きまして、伝統工芸を熱心に見ていかれました。組みも買ってこれらで熱心にやっている。1人でもこういう事やうけてゆけると有難いとして何かほのぼのとしたものを感じたわけでございます。尚、文化展につきましては反省すべき点多かったと感じています。そして先程、田島支部長から話の出ました中央区の入札についても、是非、皆様方で登録をして、入札に参加して下さるようをお願い致します。尚又、私と日本橋の河北さんが中央区の商工業基本計画委員会をしています、その委員会が中央区の商工業をどういう方向へ持って行くべきかと検討をしております印刷については印刷博物館や印刷教習所等の中へ含めて、近々区へ答申をする事になっております。先程も戦争の話が出ましたが、私も僅かの間で、戦争へ行きま

したが、戦争というものは全くいやなものでございます。私は、えと、の羊年ですが、このやさしい羊年に何故戦争が起きたのかと不思議に思うわけですが、早く平和になって皆が手を携えて平和を謳歌したいものだと思っております。本日はどうもおめでとうございました。」(拍手)。最後に閉会の言葉が永島監査により述べられて、一時間に亘る新年臨時総会が終了致しました。続いて6時からは二階の大広間にて、関連業者41名を混えて、支部員73名と合せて、総勢114名で、新年宴会が催されました。進行は小倉・石井副支部長で行われ、まず田島支部長が挨拶、関連業者へのふだんの協力に対する感謝が述べられた後、42名の関連業者名の紹介が順次読み上げられその都度拍手で迎えられました。そして代表して東製本工組京橋支部長の城所虎雄氏がお礼のことばを述べました。乾杯は京橋支部顧問の久保田幸一郎氏の音頭で一同乾杯、そして歓談に移り、きれいだころによる舞踊や、カラオケ大会に興じている内に、またたく間に一時間半が過ぎ、中締めは石澤支部顧問が行って、和やかな新年宴会もお開きとなりました。今年は4年ぶりの湯本温泉の泊りとなり、風邪の流行している最中でしたが、皆様元気なお姿をみせられて、関連業者とも話はずみまして、京橋支部の総会の時はいつも好天に恵まれるのも、やはり支部員の日頃の精進のよいせいかなとも思いつつ、おみやげを手に、三々五々帰路につきました。



技術連関社会と人間

東印工組常務理事 長 島 一 磨

—ポスト構改への視点—

第1次(斉藤)、第2次(石曾根)、第3次(長島)と構造改善事業は京橋支部と長い期間にわたって深い関係が続けてきました。それぞれの時期における改善のテーマは第1次は設備の集約化・自動化・高速化、第2次は知識の集約化、第3次は経営の戦略化と時代の変化について変わってきましたが、無限の成長と発展を求めた経済効率第一主義という姿勢は一貫して変わりませんでした。しかし現在の日本がおかれている状況や世界の常識と日本の常識との違いを考え、地球環境問題を考えると個人の価値観や企業の経営理念の見直しが必要になってきています。ポスト構造改善をどのようなパラダイムのもとに行なうべきかの問題にも着着手する時期になっています。また、東京都の印刷産業ビジョンの作成にあたって、このような視点が必要でしょう。

さて、4年前の同じ京橋支部の臨時総会で与えられた挨拶の機会に、J・ラヴロックのガイア仮説について紹介致しましたが、地球を一つの生きている有機体として見るのが必ずしも否定出来ないような時間の経過がこの4年間にあったと思います。それについての実証的デー

タが様々な分野の科学者から提起されていますが、その一つとして地質学、人類学、考古学、物理学などの数人の科学者の共著による「アース・マインド」があります。この本の副題に「地球は人類の廃棄を意図し始めた」とあり、考えようによっては地球ミステリーとも受け取れますが、暗示的には現代文明への真剣な警鐘でもあります。具体的な対策が簡単にはたてられないという理由で特に企業側からは積極的なアプローチがされていませんが、地球的視野から現代文明の再検討がされるべきだと思います。湾岸戦争の問題もこのアングルで考える必要があります。いま、時代の主役は情報と技術ですが、この高度情報・技術社会の急成長がもたらす影の部分に光を当て、光と影のバランスをとりながら、印刷業界の構造問題を考えるべきではないでしょうか。

さて、影の部分を考えるキーワードに「汚染」をとりあげてみたいと思います。

1 物質汚染 あらゆる産業の限りなき発展がエコシステムの破壊を招き、システムを構成する4要素(無機物質、有機物質としての生産者・消費者・還元者)のリサイクルを妨げています。産業の発展、経済の成長を将来にわたって持続的に可能とさせる為に技術をどのようにコントロールすべきか。手段である筈の技術が

現代のような技術連関社会では目的化され、物質汚染の再生産プロセスの原理が構造として社会のなかに内包化される恐れがあります。

2 倫理汚染 技術が巨大化してくると、それにあわせて新しい倫理が人間に要求されてきます。技術の及ぶ範囲が狭かった時代では、目で見える世界での倫理即ち対面倫理で社会の秩序は保たれていましたが、例えばボタンを押すだけのことで、遙か彼方の土地の住民が大量に殺害される時代では、ボタンを押す側の国の倫理が問題になります。個人のみでなく団体の倫理が問われてきます。

3 感動汚染(機能過剰による汚染) 今までが予め定められた目標や課題を効率よくこなすだけでよしとされてきましたが、その目標自体が意味を問われてきます。即ち意味充実に対する機能優先の問題といえます。人間にとっての感動が希薄になり機能重視が行き過ぎる時には、人の評価は効率、生産性、管理能力など機能の尺度だけが重視されます。企業の業績向上のための付加価値と個人の人生にとっての付加価値が重なるための新しい規範による社会、感動が社会的に意味を持つ社会が望まれます。

4 我慢汚染(快適の行き過ぎた追求による自己規制力の崩壊) 技術の発展が生活のあらゆる領域において便利さ、快適さを可能にし、豊かさが単に快適状態の追求を目指すものであるならば、技術革新は人間という種の存続を危うくしかねません。種の存続のための最適条件は我慢状態であり、快適状態の継続は非最適条

2月21日、中央区商工業各種表彰式が、3時から行われました。優良事業主は20年以上、優良従業員は10年、20年、30年以上の3段階に亘って表彰が行われました。まず中央区矢田区長の挨拶のあと、商業関係の表彰があり、次いで工業事業主の表彰があり、京橋支部では、(株)三田村印刷所、三田村桂太郎氏、小宮山印刷(株)小宮山敬之氏、(株)日刊食料新聞、近藤正弥氏、(株)ミズノプリテック、水野雅生氏の4名が矢田区長より表彰されて、記念品を贈呈されました。又、優良従業員表彰では10年以上は4社11名、20年以上は5社19名、30年以上は2社6名の方々が京橋支部の方で、合計32名が表彰された。来賓祝辞では区議会議長に続いて、東商中央支部支部長代理が挨拶、中央区の江戸から現在に至る歴史、商工業の発達を判り易く解説して、表彰された方々を祝いました。式のあと別室で記念撮影した後、4時から祝賀パーティーが催されて、再び出席者のお祝いの幹杯が行われて、日頃のご苦労を忘れて、楽しんでいました。

中央区商工業各種表彰式

件になります。豊かさの中でのストイシズムとのバランスが要求されます。印刷業界が情報・文化産業として時代の先端をいく資格を得るには地球環境問題へ積極的にアプローチし、技術革新の意味を再検討し、技術・経済の先進国と

してのノブレスオブリージュを自覚した自らのパラダイムを構築しなければならぬと思います。しかし、印刷業界が黒子産業にあまんじるとしても、いずれこの問題に直面せざるをえないのではないのでしょうか。



「高品位カラー化」へ、
菊4サイズのニーズが、熱い。
CPC+アルカラーのハイデルベルグGTOV
菊4裁判36×52cm

HEIDELBERG-PMT
ハイデルベルグPMT株式会社
東京本社 〒140 東京都品川区南大井3-21-4 TEL.(03)3763-4141

みなさまと ともにあゆみて 60年

株式会社 山櫻

本社 東京都中央区築地3-2-9
TEL 3542-8511(大代)
FAX 店頭3545-1424・営業3546-0180
FAX 店頭フリーダイヤル0120-03-1424

支店 神田・中野・五反田・浅草・板橋・亀有
墨田・大塚・蒲田・横浜・千葉・大宮・大阪

すいせんのことば 機械の材質が良く、支障なく作業が進み助かります。信頼できるサービスで約束の時間には必ず来てくれます。 入船地区 永井印刷工業(株) 小倉利明

すいせんのことば 商品はグッドで、価格はピタット。営業マンはスラット、会社はハイルック使いたくなる山桜製品。 新富地区 神林印刷(株) 神林克明

地区だより

築地互友会十一月例会

橘家半蔵を招き一夜楽しむ

築地互友会十一月例会は平成二年十一月二十
八日午後六時から、キャピタルホテル新館で開
かれた。今回は会員の他日頃お世話になってい
る田島支部長、岩本書記を招き懇談した。また
互友会としては初めての試みとして、落語家の
橘家半蔵を招き、楽しい一時を過ごした。

例会は今竹地区長より去る九月の研修旅行が
「中央区の資金協力を得て有意義に、しかも大
変な好評の中で終了したこと。十月の中央区産
業文化展、ヘソ展がみなさんの協力を得て入場
者数もぐーんと多く成功裡に終った」ことなど
が報告された。

このあと、来賓の田島支部長より「京橋支
部の現状と今後の活動についておよび日頃から互
友会には大変お世話になっている」としてお礼
の言葉が述べられた。このあとはお待ちかねの
半蔵の独演会。半蔵は真打ちになったばかりの
最初の独演会とあって大張り切り。演しものに
これといったものはなく、広い分野での小咄、
と「あて字」の勉強。それぞれの話に落ちがつ
いているもので一夜を楽しませた。

最近日本語を一番よく知っている分野とし
て若い者に人気がある。一部にはオーバードラ
マチック

ションもあるが広く日本語を知っている分野と
して見れば、一興であろうというのが今回の催
しとなった。
(近藤記)



築地互友会二月例会

会費の値上げを決める

築地互友会二月例会は平成三年二月二十一日
午後六時から天六で行われた。例会はまず今竹
地区長より、「秋の旅行会を昨年と同様、研修
旅行にしたいと提案があり、協議した。研修場

所は第一候補は富士フィルムの工場であったか
土曜休みのため金土曜の日程でないとい実行がむ
ずかしいことなど種々問題があり更に幹事会で
協議することになった。

また、例会を都内でなく、地方でやったらど
うかという提案は了承された。一番問題なのは
会費の値上げで、現状の財政状態では運営がむ
ずかしくなるので、現行の一カ月五千円を七千
円に値上げすることを提案無事承認され、十年
ぶりの値上げとなった。今竹地区長も在任中
もっとも難関とされた値上げ問題が承認された
ので幹事一同とホッと胸をなでおろした。この
あと宴会に移り七時半過ぎ加藤元老の大メで終
了した。
(近藤記)

入船地区

(株)小葉印刷所、新社屋落成式

2月25日、(株)小葉印刷所の新社屋、政光ビル
“の落成式が午後4時から、入船の新社屋7階
建ての3フロアで行われました。当日は入船地
区の同業者を含めて印刷関連だけでも、150名が
招かれてお祝いしました。尚、中央区の矢田区
長も来賓の挨拶を述べました。尚、新社屋には
本社営業部が入り、北砂工場と2ヶ所になる予
定です。一時期、地上げによる移転で、印刷業
者も入船から撤退する傾向でしたが、この所
やとと落ち着き、入船地区の支部員は、現在33社
となっています。12月には港支部から(株)トープ
口、斎藤弘之殿、入船2-9-5、が加入。

京青会3月行事

景気予測講演会と

谷口インキ製造(株)見学会

3月6日(水)、「今後の日本経済と中小企業の課題」というテーマで、(株)三菱総合研究所取締役佐藤公久氏をお招きして、中央会館において講演会を行いました。

講演内容は、①日本経済新聞、週刊東洋経済等のデータを基にどのように景気の動向をみるか、②成功した企業の変身例、③中小企業の課題等で、質問形式により進められた。

中でも中小企業の課題として我々企業の発展は、経営者の会社への愛着心、利益の地元への還元、企業の個性化、特に街ぐるみの発展なくして企業の発展はないという話しには、感銘をうけた。以上課題は多いが、やり方しだいといくらでも発展できるということを再認識することができ、有意義な講演会であった。出席者数52名(日本橋支部青年会8名も参加)

3月9日(土)、谷口インキ製造(株)大利根工場を見学致しました。印刷会館前を正午に出発し、渋滞にもあわず50分で内守谷工業団地内の工場に到着してしまい、休憩の後、谷口専務、大井工場長の案内で、在庫倉庫(オートメーション)、コンピュータ制御の特色配合プラント(研究中)ワニス製造プラント等インキ製造工程、研究所を見学し、研修室で谷口専務の講演をいただき、インキのトラブル等の質疑に対し



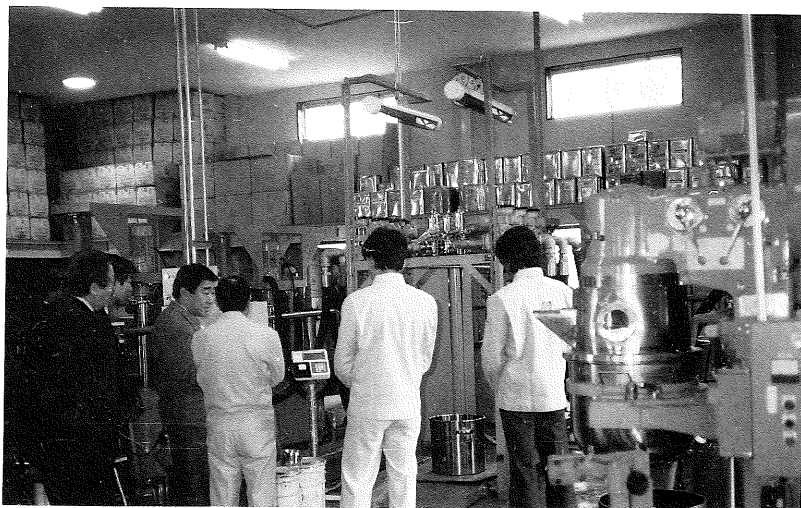
ても、大井工場長、吉岡研究室長が丁寧に答えられました。

発売中のオフセットインキのカラーマッチング自動製造システム「調色名人」は、我々中小企業にとって、印刷オペレーターの永年の経験による特色の色出しの時間を、短縮する興味深い研究であった。

今後も京青会員及び支部員の皆様に満足してもらえる研修会を企画していきますので、ご意見等がありましたら是非お聞かせください。な

お、5月は「交通事故と法律問題」をテーマに研修会を開催する予定です。詳細は支部事務局へ問合せ下さい。

(小倉)



◎京青会へ入会下さい

支部員の御子息、幹部社員のうちで45才迄の方の加入をお勧め致します。どうぞ支部事務局へ電話下さい。現在40名加入。

支部の動き

11月1日(木)本部支部長会(15時～17時)於・印刷会館

11月6日(火)部長・監査・地区長会(11時～14時)於・支部室

1、支部長会報告事項について

・「新春のつどい」開催について、1月14日、椿山荘

・「支部配送等情報伝達に関する支部実態アンケート」結果について配送物が支部員にまで届くのは2週間以内が18支部

・事業者台帳・構造改善事業の調査について、10月末支部配送、11月末提出

・支部主催行事への正・副理事長の出席について

・生活安定セミナーの開催について

2、当面する支部事業について

・支部幹事会の開催―11月22日(木)、18時、築地スエヒロ別館、会費5千円

・新年臨時総会の開催―2月8日(金)、16時、箱根湯本温泉・天成園、会費2万円、前期役員へ感謝状・記念品の贈呈

11月16日(金)中央区産業文化展印刷製本分科会、(18時～19時30分)於・島福 会費1万円、田島支部長、佐藤・小倉両副支部長、岩本書記出席

11月22日(木)京橋支部幹事会(18時～20時)於・

築地スエヒロ、会費5千円、42名出席

11月28日(水)築地地区会(18時～17時30分)於・銀座キャピタルホテル、田島支部長出席

11月30日(金)中央区産業文化展反省会(18時～20時)於・築地スエヒロ、実行委出席

12月6日(木)本部支部長会(15時～17時)於・印刷会館4階、田島支部長出席

12月13日(木)部長・監査・地区会長(18時～20時)於・築地・磯野家、会費1万円

1、支部長報告事項

・総代定数の改訂について、現行三名を三名へ、新総代任期1年

・平成3年度第1四半期賦課金徴収について、3月請求、4月納入とする

・情報ネットワーク事業推定について、担当副支部長、担当員の推せん

・お得意様への「お願い状」第2弾について、11月末全組合員へ郵送

・百年史の進捗状況について

・「準組合員」加入促進及び工場移転組合員の移転先での対応について

・全印工連(名刺・年賀状)コンクルールの応募について

2、報告事項

・新春のつどい、1/14、申込状況

・生活安定セミナー12/11、申込状況

・事業者台帳、構造改善両調査回収状況について

・印刷手帳、組合員名簿の作成、配布について

3、支部提案事項

・「相続税財産評価研修会」について

・支部長の任務の軽減について

・「印刷業経営動向実態調査」について

4、当面する支部事業について

・新年臨時総会日時、2月8日(金)、16時、箱根湯本温泉、「天成園」

・総会次第、支部長挨拶、前期役員(代表4名)に感謝状、記念品贈呈

・新年宴会次第、支部長挨拶、関連業者の紹介、関連業代表挨拶、乾杯

・その他、委員会報告等

12月22日(土)中央区印刷・製本地域懇談会(15時～17時)於・支部室、田島支部長他出席

1月4日(金)京橋支部事務局仕事始め

1月10日(木)本部支部長会(15時～17時)於・印刷会館4階

1、協議事項

・総代数の改定について、総代数を162名とする。又任期を理事と揃える

2、報告事項

・新春のつどいについて

・事業者台帳回収状況

・第4四半期行事等スケジュール

・各支部新年会の紹介記事を「東京の印刷」へ掲載

・体育レクリエーション活動推進事業への助成(中央労政事務所) 3/31迄申込

1月14日(月)本部新春のつどい(17時30分～19時30分)於・椿山荘、会費1万3千円、京橋

支部53名出席、関連業、組合員合せて約1千人参加

1月17日(木)京橋製本協同組合新年会(17時30分～19時30分)於・築地東天紅、田島支部長出席、挨拶

1月18日(金)中央区工団連新年会(18時～19時30分)於・中央会館

1月28日(月)臨時部会・監査会(12時～13時30分)於・支部室、新年臨時総会進行打合せ

2月8日(金)部長・監査・地区長会(14時～15時)於・箱根湯本温泉天成園

1、支部長会協議事項について

・総代の選任について、平成3年度は任期

1年、京橋支部総代数13名

・事業者台帳、構改両調査の回収状況について、京橋支部回収率41%

2、報告事項

・版下類の所有権について

・受託物賠償対象物拡大(受注作成物も対象)

・掛金の変更(年間400円アップ)

・平成4年1月より実施

・第2次「生命共済、経営者退職功労金」加入増強キャンペーン、パンフ直送

・情報ネットワーク推進委員会の運営状況

・「電子編集機選択のキーポイント」シリーズ3研修会、申込状況

3、当面する支部事業について

・本日午後4時よりの新年臨時総会進行打合せ

・通常総会5月中旬予定

2月8日(金)京橋支部新年臨時総会(16時～17時)於・箱根湯本温泉、天成園、支部員72名参加

・総会次第

司会

開会のことば

あいさつ

・議事 前期役員へ感謝状・記念品の贈呈

代表して4名へ贈呈

大竹前支部長、荒木前副支部長、斎藤前

地区長、佐野前幹事

来賓あいさつ 東印工組副理事長

田島一弥殿

東印工組常務理事

長島一磨殿

中央区工団連会長

児玉正己殿

閉会のことば

・新年宴会

あいさつ

関連業代表挨拶

乾杯

中締

2月14日(木)京橋電気安全協会(11時30分～12時30分)於・京橋消防署、岩本書記出席

2月21日(木)中央区優良事業主、優良従業員表彰式(15時～17時)於中央会館、京橋支部よ

司会

近藤副支部長

佐藤副支部長

田島支部長

東印工組副理事長

田島一弥殿

東印工組常務理事

り事業主4名、従業員11社32名が表彰されました。

3月7日(木)本部関東地区協議会(16時～17時)於・池袋白雲閣、田島支部長他本部役員出席

3月14日(木)部長・監査・地区長会(11時～14時)於・支部室

1、関東地区協報告事項について

2、新年臨時総会報告について

3、当面する支部事業について

・通常総会日程、5月15日(水)、5時30分、築地スエヒロ別館にて開催

・通常総会進行について打合せ

・議事の次期役員選考委員の選任について

・その他、支部報発行について

慶事

○(有)長正社印刷所社長長男、増田光辰殿が御結婚しました。(3月)

お悔み申し上げます

・松栄印刷(株)会長、飯塚松箔殿が御逝去されました。(11月)

・(有)明秀印刷社会長、中村賢逸郎殿が御逝去されました。(12月)

支部員の異動

○加入組合員

・(株)トープロ、入船2-9-5、電話3553-1621 斎藤弘之殿(11月)

○脱退組合員

・八千代印刷(株)、石曾根啓悦氏(3月)

所在地移転

・(株)大文堂(旧社名大文堂印刷(株))は江東区森下5-19-22、電話3846-8280へ移転。

・(株)典文社(旧社名、土井印刷(株))は新社屋建築のため新川2-22-6、新川KSビル、電話3206-9441へ移転しました。

・(株)長島印刷所は新社屋建築のため、銀座2-14-5、三光ビジネスシヤステル、電話3264-0261へ移転しました。

・(株)大秀社は新社屋建築のため湊3-4-8ウエルシャン築地101、へ移転しました。

・宮間印刷(株)は新社屋建築のため、新川1-28-33へ移転しました。

・(株)朝川印刷社は、江東区清澄2-11-7、電話3643-3363へ移転しました。

・正明堂会津印刷所は、江東区板川2-26-10、電話5606-1616へ移転しました。

・オカムラ印刷(株)は新富1-15-3、松本ビル4階へ移転しました。

・(株)小葉印刷所は本社が新社屋へ移転。入船2-7-4、電話3551-1222。

・石澤印刷(株)は本社が新社屋、八丁堀4-13-5へ移転します。電話3552-3081

社名変更

・(株)大文堂(新富地区、旧名大文堂印刷(株))

・(株)典文社(築地地区、旧名土井印刷(株))

・シンセイ・リテラス(株)(八丁堀地区、旧名)

新正印刷(株)

・(株)ユー・エダ(新川地区)(旧名、江田印刷(株))

告知板

東印工組広報紙「東京の印刷」にて募集中の組合情報ネットワークシステム「TOPネット」を担当する情報ネットワーク推進委員会ではパソコンのインストラクターを当支部で募集しています。コンピュータ通信に興味ある社員の方、又勉強を望む方は是非、支部事務局迄ご連絡下さい。月一回、(水)夜間6時半から8時迄の交流研修会を行っています。

「京橋の印刷」広告募集

当京橋支部では、業界の推移、技術や営業の情報交換など組合員の結束を図るために、支部報「京橋の印刷」を刊行しています。就きましては時節柄誠に恐縮ですが、協賛広告にご応募くださいますようお願い致します。

協賛広告掲載料金

一段	天地	五〇耗	一回につき金壹万円
	左右	一四五耗	
半段	天地	五〇耗	一回につき金五千元
	左右	七〇耗	

図案・版下作成は実費頂戴いたします。

東京都印刷工業組合京橋支部

編集後記

新年度の4月に入りやっと本号の発行が出来ました。何とか3月中にと思っていましたが、遅くなり中には旧聞に属する原稿もありますが、ご容赦願います。さて湾岸紛争の緊迫した事態で幕明けした本年も、原油流出、油井炎上等の地球規模の環境破壊等、先行き暗い問題を抱えて今年も多事多難な「平成」とは名ばかりの年になりそうで案じられます。日本経済の先行きも景気後退の指標がだんだん現れて来て、我印刷業界にも、その影響が出て来そうです。一方、人手不足は日増しにひどくなり、その最悪の状態の建設業界では、事故が続発し、熟練者不足がその遠因ではないかといわれています。我国人口も出生率が1.5倍から、3年後はもつと下って1.3倍ぐらいだが、2倍以上でなければ人口は殖えず、推計によると80年後の日本の人口は、今のままでおけば、たったの200人になるとの事で、日本滅亡の危機にあるそうです。

我印刷業界も、これから従業員の高齢化が深刻化する一方、若年層の不足や、後継者難で機械設備断念や転廃業が続くものと思われまます。これからは何とか省力化、作業交流で対処する事になるのでしょうか。(岩本)